

第3章

生活環境影響調査項目の選定

第3章 生活環境影響調査項目の選定

1. 生活環境影響要因の把握及び調査項目の選定

(1) 調査項目の選定

調査項目の選定は、ごみ処理施設に関する生活環境影響要因と生活環境影響調査項目との関係を整理して行う。

本施設整備は、新たに最終処分場の整備を行うものである。本調査では表3.1で「○」とした項目について調査、予測・評価を行う。また、「－」とした項目は、浸出水処理施設からの排水については下水道放流する計画であるため、予測を行わず現地調査のみを実施する項目である。

表3.1 生活環境影響調査項目の設定

生活環境影響調査項目 生活環境影響要因		大気質	騒音	振動	悪臭	水質	地下水	土壌汚染	植物	動物	景観
		工事による影響	運搬（機材・資材・廃材等）	○	○	○					
土地造成（切土・盛土）、掘削、建築物の工事	○		○	○			○				
排水中に含まれる土粒子						○					
存在・供用による影響	浸出水処理施設からの処理水の放流					－					
	最終処分場の設置、存在						○		○	○	○
	施設（浸出水処理施設）の稼働		○	○							
	埋立作業	○	○	○				○			
	施設（埋立地）からの悪臭の発生				○						
	廃棄物運搬車両の走行	○	○	○				○			

2. 選定項目及びその理由

選定した項目とその理由は表3.2に示すとおりである。

表 3.2 選定した項目とその理由

項目		選定理由	
大気質	工事	運搬（機材・資材・廃材等）車両の走行に伴う排ガスの影響	工事関係車両が走行し、運搬経路周辺の大気質への影響が考えられるため調査項目として選定する。
		土地造成（切土・盛土）、掘削、建築物の工事に伴う粉じん、排ガスの影響	建設工事に伴い、粉じん等の飛散及び工事機械の稼働による排ガスの影響が考えられるため調査項目として選定する。
	存在 供用	埋立作業に伴う粉じん等飛散及び埋立作業機械の稼働による排ガスの影響	埋立作業に伴い、粉じん等の飛散及び埋立作業機械の稼働による排ガスの影響が考えられるため調査項目として選定する。
		廃棄物運搬車両の走行に伴う排ガスの影響	廃棄物運搬車両が走行し、運搬経路周辺の大気質への影響が考えられるため調査項目として選定する。
騒音	工事	運搬（機材・資材・廃材等）車両の走行に伴う騒音の影響	工事関係車両が走行し、運搬経路周辺に交通騒音の影響が考えられるため調査項目として選定する。
		土地造成（切土・盛土）、掘削、建築物の工事に伴う騒音の影響	建設工事に伴い、工事機械の稼働による騒音の影響が考えられるため調査項目として選定する。
	存在 供用	施設（浸出水処理施設）の稼働に伴う騒音の影響	浸出水処理施設にポンプ等騒音発生機器を設置するため調査項目として選定する。
		埋立作業に伴う騒音の影響	埋立作業機械による騒音の影響が考えられるため調査項目として選定する。
振動	工事	運搬（機材・資材・廃材等）車両の走行に伴う振動の影響	工事関係車両が走行し、運搬経路周辺に交通振動の影響が考えられるため調査項目として選定する。
		土地造成（切土・盛土）、掘削、建築物の工事に伴う振動の影響	建設工事に伴い、工事機械の稼働による振動の影響が考えられるため調査項目として選定する。
	存在 供用	施設（浸出水処理施設）の稼働に伴う振動の影響	浸出水処理施設にポンプ等振動発生機器を設置するため調査項目として選定する。
		埋立作業に伴う振動の影響	埋立作業機械による振動の影響が考えられるため調査項目として選定する。
		廃棄物運搬車両の走行に伴う振動の影響	廃棄物運搬車両が走行し、運搬経路周辺に交通振動の影響が考えられるため調査項目として選定する。
悪臭	存在 供用	施設（埋立地）からの悪臭の発生による影響	施設からの悪臭の影響が考えられるため調査項目として選定する。
水質	工事	排水中に含まれる土粒子	工事を行う際、計画地内の湧水を排水しながら実施することが考えられるため、調査項目として選定する。

項 目		選定理由
地下水	工事	土地造成（切土・盛土）、掘削、建築物の工事に伴う地下水への影響 建設工事による地下水の水位、流動状況の変化、それに伴う利水面等への影響が懸念されるため調査項目として選定する。
	存在供用	最終処分場の設置・存在に伴う地下水への影響 施設の存在による地下水の水位、流動状況の変化、それに伴う利水面等への影響が懸念されるため調査項目として選定する。
土壌汚染	存在供用	埋立作業に伴う粉じんの飛散による周辺土壌への影響 計画地周辺に農地が存在する。粉じんの飛散に伴う影響への懸念に定めるため、調査項目として選定する。
		廃棄物運搬車両からの粉じんの飛散による周辺土壌への影響 廃棄物運搬車両の運搬経路周辺に農地が存在する。廃棄物運搬車両の走行に伴う影響への懸念に定めるため、調査項目として選定する。
植物	存在供用	最終処分場の存在に伴う植物への影響 計画地及び周辺の植物の現状について把握し、必要に応じて適切な配慮を行うために調査項目として選定する。
動物	存在供用	最終処分場の存在に伴う動物への影響 計画地及び周辺の動物の現状について把握し、必要に応じて適切な配慮を行うために調査項目として選定する。
景観	存在供用	最終処分場の存在に伴う景観への影響 計画地の眺望景観の変化を予測するため調査項目として選定する。

3. 非選定項目及びその理由

非選定とした項目とその理由は表 3.3 に示すとおりである。

表 3.3 非選定とした項目とその理由

項 目		選定理由
水質	存在供用	浸出水処理施設からの排水は下水道に放流する計画であり、周辺の公共用水域に直接影響を及ぼすことはないものと考えられる。しかし、地域の水利用の状況、水環境への関心等を考慮すると、地域の水質に配慮することが重要である。したがって現況調査を実施し、河川等の水質の現状を把握する。

